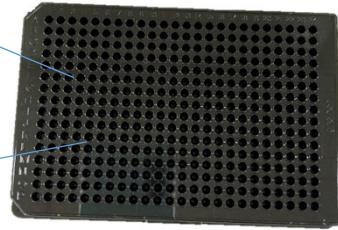


# Assay-ready plates (POD分注) による酵素アッセイ例



## POD 分注プレート

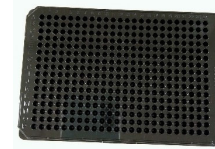
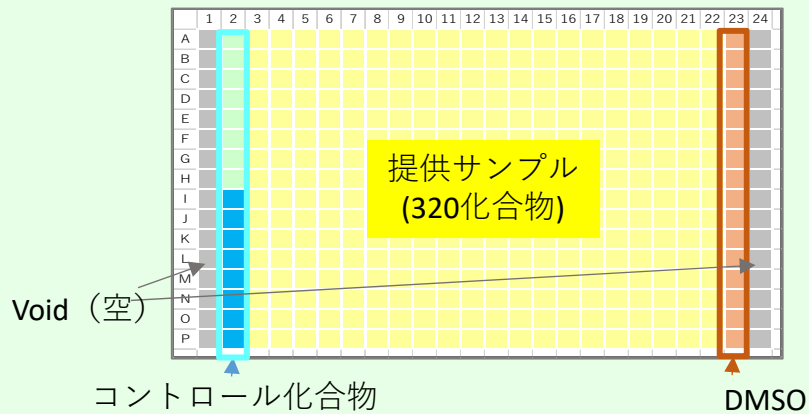
そのままアッセイプレートとして使用

2 mM化合物 20 nL/well

(PODは1滴2.5 nLの倍数で最大1000 nLまで分注可能)

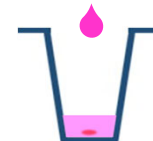
## プレートマップ (分注レイアウト) の例

(申請書(様式12)で指定パターンから選択可能)



small-volume 384 well plate

(10  $\mu$ L/well 以下でアッセイ可能)



酵素分注 2  $\mu$ L/well



基質分注 2  $\mu$ L/well

攪拌  
遠心



Total volume 4  $\mu$ L/well  
化合物濃度 10  $\mu$ M (0.5% DMSO)

incubation



検出試薬分注 4  $\mu$ L/well

攪拌 (Total 8  $\mu$ L/well)

遠心

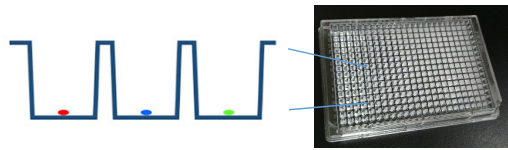


incubation

測定

# Assay-ready plates (POD分注) による細胞アッセイ例

①浮遊細胞として扱える場合 ②接着細胞に化合物を後添加する場合



**POD分注プレート**  
2 mM化合物 40 nL/well

細胞分注  
40  $\mu$ L/well



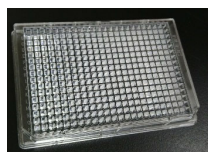
培養



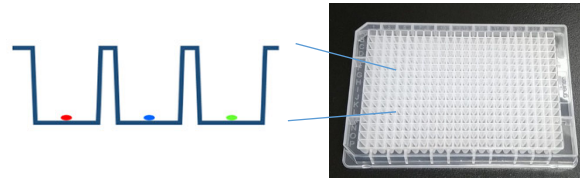
検出試薬添加  
4  $\mu$ L/well



攪拌  
incubation



そのまま  
アッセイ  
プレート  
として測定

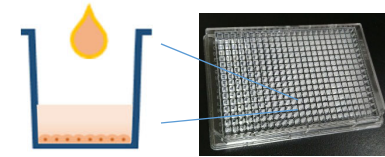


**POD分注プレート(化合物希釈用プレート)**  
2 mM化合物 60 nL/well

培地分注 15  $\mu$ L/well  
化合物濃度 8  $\mu$ M  
(0.4% DMSO)

10  $\mu$ L/well  
transfer

POD分注プレートに培地を添加して4倍終濃度の化合物溶液を作製し、そこから細胞播種済アッセイプレートに10  $\mu$ Lだけ添加する。そうすることで、大変な1  $\mu$ L程度の多種化合物溶液の微量transferを省け、化合物溶液を均一化しやすい。



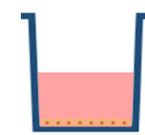
アッセイプレートに細胞を  
30  $\mu$ L/wellで播いておく

培養



Total volume 40  $\mu$ L/well  
化合物濃度 2  $\mu$ M  
(0.1% DMSO)

培養



検出試薬添加  
4  $\mu$ L/well



攪拌  
incubation



測定